

「中間中胚葉への高効率分化誘導法の確立」
第 55 回日本腎臓学会学術総会 横浜
2012. 06. 01

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）

班 員 名 簿

進行性腎障害に関する調査研究班

区分	氏名	所属等	職名
研究代表者	松尾 清一	名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科	教授
研究分担者	川村 哲也	東京慈恵会医科大学 臨床研修センター	教授
	鈴木 祐介	順天堂大学大学院医学研究科腎臓内科学	准教授
	城 謙輔	仙台社会保険病院病理部	主任部長
	山縣 邦弘	筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学	教授
	杉山 斉	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 慢性腎臓病対策腎不全治療学	教授
	丸山 彰一	名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科	准教授
	南学 正臣	東京大学大学院医学系研究科内科学専攻・器官病態内科学講座・腎臓内科学分野	教授
	堀江 重郎	帝京大学医学部泌尿器科学教室	教授
	奴田原 紀久雄	杏林大学医学部泌尿器科学教室	教授
	横山 仁	金沢医科大学医学部腎臓内科	教授
	渡辺 毅	福島県立医科大学医学部 腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学	教授
	長田 道夫	筑波大学医学医療系生命医科学域病理学	教授
	安藤 昌彦	名古屋大学医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センター	准教授
	木村 健二郎	聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科	教授
	湯澤 由紀夫	藤田保健衛生大学医学部腎内科	教授
	有村 義宏	杏林大学医学部第一内科	教授
	西 慎一	神戸大学大学院腎臓内科 腎・血液浄化センター	特命教授
	成田 一衛	新潟大学医歯学総合研究科腎膠原病内科	教授
	猪阪 善隆	大阪大学大学院医学系研究科老年・腎臓内科学	准教授
横尾 隆	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科	教授	
佐藤 和一	名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科	講師	
研究協力者	富野 康日己	順天堂大学医学部腎臓内科	教授
	堀越 哲	順天堂大学医学部腎臓内科	准教授
	西野 友哉	長崎大学医学部第二内科	講師
	古巢 朗	長崎大学医学部第二内科	講師
	吉川 徳茂	和歌山県立医科大学小児科	教授
	服部 元史	東京女子医科大学腎臓小児科	教授
	安田 隆	聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科	准教授
	白井 小百合	聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科	講師
	柴田 孝則	昭和大学医学部腎臓内科	教授
	吉村 光弘	公立能登総合病院	院長
	宇都宮 保典	東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科	准教授
	遠藤 正之	東海大学腎代謝内科	准教授
	坂本 なほ子	国立成育医療センター研究所成育社会医学研究所成育疫学研究所	室長
	松島 雅人	東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター臨床疫学研究室	室長
	宮崎 陽一	東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科	講師
	安田 宜成	名古屋大学大学院医学系研究科CKD地域連携システム寄附講座	准教授
	香美 祥二	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部小児医学分野	教授

区 分	氏 名	所 属 等	職 名
	幡谷 浩史	東京都立小児総合医療センター腎臓内科	医長
	鈴木 仁	順天堂大学大学院医学研究科腎臓内科学	助教
	清水 章	日本医科大学解析人体病理学	教授
	片渕 律子	福岡東医療センター内科	部長
	久野 敏	福岡大学医学部病理学	准教授
	橋口 明典	慶應義塾大学医学部病理学教室	助教
	武曾 恵理	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院腎臓内科	腎臓内科主任部長
	要 伸也	杏林大学第一内科	准教授
	新田 孝作	東京女子医科大学第四内科	教授
	和田 隆志	金沢大学医薬保健研究域医学系血液情報統御学	教授
	田熊 淑男	仙台社会保険病院	院長
	小林 正貴	東京医科大学茨城医療センター腎臓内科	教授
	細谷 龍男	東京慈恵会医科大学寄付講座慢性腎臓病態治療学講座	教授
	斉藤 喬雄	福岡大学医学部総合医学研究センター	教授
	中島 衡	福岡大学医学部腎臓・膠原病内科学	教授
	藤元 昭一	宮崎大学医学部医学科血液・血管先端医療学講座	教授
	平和 伸仁	横浜市立大学附属市民総合医療センター血液浄化療法部／腎臓・高血圧内科	准教授
	湯村 和子	国際医療福祉大学病院・予防医学センター・腎臓内科	
	伊藤 孝史	島根大学医学部附属病院・腎臓内科	診療教授
	田部井 薫	自治医科大学附属さいたま医療センター腎臓科	教授
	稲熊 大城	名古屋第二赤十字病院腎臓病総合医療センター腎臓内科	部長
	小倉 誠	東京慈恵会医科大学附属柏病院腎臓・高血圧内科	准教授
	安永 親生	福岡県済生会八幡総合病院腎センター	部長
	鶴屋 和彦	九州大学大学院包括的腎不全治療学	准教授
	中川 直樹	旭川医科大学内科学講座循環呼吸神経病態内科学分野	特任助教
	吉田 雅治	東京医科大学八王子医療センター腎臓内科	教授
	今田 恒夫	山形大学医学部附属病院第一内科	准教授
	佐藤 壽伸	仙台社会保険病院腎センター	副院長
	佐藤 博	東北大学大学院薬学研究科・臨床薬学分野	教授
	槇野 博史	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科腎・免疫・内分泌代謝内科学	教授
	奥田 誠也	久留米大学医学部腎臓内科	教授
	鈴木 洋通	埼玉医科大学腎臓内科	教授
	石村 栄治	大阪市立大学大学院医学研究科腎臓病態内科学	准教授
	岩野 正之	福井大学医学部病態制御医学講座腎臓病態内科学領域	教授
	赤井 靖宏	奈良県立医科大学附属病院第一内科	准教授
	椿原 美治	大阪府立病院機構大阪府立急性期・総合医療センター腎臓・高血圧内科	主任部長
	森 典子	静岡県立総合病院腎臓内科	部長
	両角 國男	名古屋第二赤十字病院腎臓病総合医療センター腎臓内科	副院長
	福永 恵	市立豊中病院腎臓内科	部長
	黒木 亜紀	昭和大学医学部腎臓内科	兼任講師
	山本 陵平	大阪大学大学院医学系研究科老年・腎臓内科学腎臓研究室	助教

区 分	氏 名	所 属 等	職 名
	内田 俊也	帝京大学医学部内科	教授
	土井 俊夫	徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部腎臓内科学	教授
	西尾 妙織	北海道大学第二内科	助教
	和田 健彦	東京大学医学部附属病院・腎臓内分泌内科	助教
	花岡 一成	東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科	講師
	土谷 健	東京女子医科大学・腎臓内科	教授
	望月 俊雄	東京女子医科大学腎臓内科	講師
	香村 衡一	千葉東病院泌尿器科	医長
	中西 浩一	和歌山県立医科大学小児科	講師
	乳原 善文	虎ノ門病院分院腎センター	部長
	の村 信介	三重大学医学部附属病院 血液浄化療法部	准教授
	武藤 智	帝京大学医学部泌尿器科学教室	准教授
	清原 裕	九州大学大学院医学研究院環境医学分野	教授
	川端 雅彦	富山県立中央病院 内科（腎臓・高血圧）	診療部長
	佐々木 環	川崎医科大学医学部 腎臓・高血圧内科学	教授
	江田 幸政	仁誠会クリニック 光の森	院長
	樋口 誠	信州大学医学部附属院 血液浄化療法部・腎臓内科	准教授
	清元 秀泰	東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 統合遠隔腎臓学分野	教授
	深澤 雄一郎	市立札幌病院病理診断科	部長
	岡 一雅	兵庫県立西宮病院・病理診断科	部長
	上田 善彦	獨協医科大学越谷病院・病理部	教授
	後藤 眞	新潟大学医歯学総合研究科腎膠原病内科	講師
	古市 賢吾	金沢大学附属病院・腎臓内科（血液浄化療法部）	准教授
	中屋 来哉	岩手県立中央病院・腎臓内科	医長
	廣村 桂樹	群馬大学大学院医学系研究科・生体統御内科学	准教授
	重松 隆	和歌山県立医科大学・腎臓内科学	教授
	深川 雅史	東海大学医学部 腎内分泌代謝内科	教授
	梅村 敏	横浜市立大学大学院医学研究科・病態制御内科学	教授
	平松 信	岡山済生会総合病院腎臓病センター	副院長
	上村 治	あいち小児保健医療総合センター・腎臓科	副センター長
	河田 哲也	国立病院機構 北海道医療センター腎臓内科・総合診療科	副院長
	山村 剛	国立病院機構 北海道医療センター腎臓内科	医長
	荻野 大助	山形大学医学部小児科	助教
	森 泰清	大阪府済生会泉尾病院 腎臓内科	部長
	満生 浩司	福岡赤十字病院 血液浄化療法内科	部長
	寺田 典生	高知大学医学部 内分泌代謝・腎臓内科学	教授
	旭 浩一	福島県立医科大学医学部 慢性腎臓病（CKD）病態治療学講座	准教授
	井関 邦敏	琉球大学医学部附属病院血液浄化療法部	部長
	橋本 英樹	東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻保健社会行動学分野	教授
	康永 秀生	東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻臨床疫学・経済	教授
	長谷川 みどり	藤田保健衛生大学医学部腎内科	准教授

区 分	氏 名	所 属 等	職 名
	臼井 丈一	筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学	講師
	猪原 登志子	京都大学医学部附属病院 臨床研究総合センター 早期臨床試験部	特定助教
	河内 裕	新潟大学医歯学総合研究科付属腎研究施設分子病態学分野	教授
	前嶋 明人	群馬大学大学院生体統御内科学	講師
	貝森 淳哉	大阪大学大学院医学系研究科先端移植基盤医療学	准教授
	板橋 美津世	東京女子医大第四内科	助教
	北川 清樹	独立行政法人国立病院機構金沢医療センター 腎・高血圧・膠原病内科	医師
	平橋 淳一	東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科	助教
	富田 亮	藤田保健衛生大学医学部腎内科	講師
	藤垣 嘉秀	帝京大学医学部内科学講座	病院教授
	北村 博司	国立病院機構千葉東病院臨床研究センター腎病理研究部	部長
	後藤 雅史	京都大学環境安全保健機構健康科学センター	講師
	佐藤 光博	仙台社会保険病院腎センター	部長
	漆原 真樹	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部小児医学分野	講師
	小松 弘幸	宮崎大学医学部医学教育改革推進センター	准教授
	金子 佳賢	新潟大学医歯学総合研究科腎膠原病内科	助教
	塚口 裕康	関西医科大学 医療情報部	助教
	細道 一善	国立遺伝学研究所人類遺伝研究部門	助教
	井ノ上 逸郎	国立遺伝学研究所人類遺伝研究部門	教授
	福岡 俊雄	倉敷中央病院 総合診療科	部長
	佐藤 和一	名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科	講師
	坪井 直毅	名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科	講師
	高橋 和男	藤田保健衛生大学医学部腎内科	講師
	岡田 浩一	埼玉医科大学病院腎臓病センター・腎臓内科	准教授
	甲斐 平康	筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学	講師
	笹富 佳江	福岡大学医学部腎臓膠原病内科学	准教授
	渡辺 裕輔	埼玉医科大学病院腎臓病センター・腎臓内科	講師
	原淵 保明	旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	教授
	長船 健二	京都大学iPS細胞研究所増殖分化機構研究部門	准教授
	相馬 淳	岩手県立中央病院腎臓内科	科長
	柏原 直樹	川崎医科大学 腎臓高血圧内科学	主任教授
	野島 美久	群馬大学大学院医学系研究科生体統御内科学	教授
	高澤 和也	公立松任石川中央病院 腎高血圧内科	部長
	荒木 久澄	滋賀医科大学 腎臓内科	助教
	草野 英二	自治医科大学医学部附属病院腎臓内科	教授
	高橋 理	聖路加国際病院	医長
	森山 能仁	東京女子医科大学	准講師
	山端 潤也	富山県立中央病院	部長
	武田 朝美	名古屋第二赤十字病院	部長
	熊谷 裕生	防衛医科大学校腎臓内科	診療科長
	日高 寿美	湘南鎌倉総合病院 腎臓病総合医療センター 血液浄化部	部長

区 分	氏 名	所 属 等	職 名
	滝沢 英毅	手稲溪仁会病院腎臓内科	部長
	金子 朋広	日本医科大学 腎臓内科	講師
	今井 圓裕	中山寺いまいクリニック	院長
	福田 敬	国立保健医療科学院研究情報支援研究センター	上席主任研究官
	高原 幹	旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	講師
	坪井 伸夫	東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科	講師
	秋澤 忠男	昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門	教授
	平山 浩一	成田赤十字病院腎臓内科	副部長
	秋山 真一	名古屋大学大学院医学系研究科腎臓内科	特任講師

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）

研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
山縣邦弘	主な原発性糸球体腎炎 1. 溶連菌感染後急性糸球体腎炎	小川聡他	内科学書改訂第8版	中山書店	東京	2013	453-455
山縣邦弘	主な原発性糸球体腎炎 2. 急速進行性糸球体腎炎	小川聡他	内科学書改訂第8版	中山書店	東京	2013	455-459
山縣邦弘	2. 急速進行性糸球体腎炎症候群	丹羽利充	腎臓病薬物療法実践ガイド	中山書店	東京	2013	203-214
臼井丈一, 山縣邦弘	第6章7 半月体形成性糸球体腎炎と ANCA 関連腎炎	安田隆他	臨床腎臓内科学	南山堂	東京	2013	386-393
臼井丈一, 山縣邦弘	第6章15 感染に伴う腎疾患	安田隆他	臨床腎臓内科学	南山堂	東京	2013	448-456
杉山 齊、佐藤博、横山 仁	ネフローゼ症候群の疫学	今井圓裕	ネフローゼ症候群	最新医学社	大阪・日本	2013	p19-27
成田一衛	ネフローゼ症候群(ステロイド依存性, 抵抗性, 難治性を含む)	山口 徹、北原光夫、福井次矢	今日の治療方針	医学書院	東京	2013	543-545
後藤 眞、細道一善、成田一衛	次世代シーケンサー	富野康日己、柏原直樹、成田一衛	Annual Review 腎臓2013	中外医学社	東京	2013	95-100
山本 卓、風間順一郎、丸山弘樹、成田一衛	慢性腎臓病における HDL、コレステロールの機能異常	富野康日己、柏原直樹、成田一衛	Annual Review 腎臓2013	中外医学社	東京	2013	136-142
山本 卓、成田一衛	血清鉄質反 ZTT (硝酸亜鉛混濁試験), TTT (チモール混濁試験)	深川 雅史	透析患者の検査値の読み方	日本メディカルセンター	東京	2013	151-152
山本 卓、成田一衛	ビリルビン	深川 雅史	透析患者の検査値の読み方	日本メディカルセンター	東京	2013	149-150
川村和子、成田一衛	末梢神経伝導速度	深川 雅史	透析患者の検査値の読み方	日本メディカルセンター	東京	2013	433-435
前嶋明人、野島美久	血液疾患と腎障害	矢崎義雄	内科学 (第10版)	朝倉書店	東京	2013	1475-1476
前嶋明人、野島美久	溶血性尿毒症症候群	矢崎義雄	内科学 (第10版)	朝倉書店	東京	2013	1476-1477
山中修一郎、横尾隆	機能的腎臓再生法の開発の現況	富野康日己、柏原直樹、成田一衛	Annural Review 腎臓	中外医学社	東京	2014	112-116

井上 達之、荒岡利和、長船 健二	iPS 細胞を用いた腎臓再生と腎疾患の病態解析	富野 康己, 成田 一衛, 柏原 直樹	Annual Review 腎臓2014	中外医学社	東京	2014	74-81
前 伸一、荒岡 利和、長船 健二	iPS 細胞培養法	富野康己	分子腎臓病学実験操作法	中外医学社	東京	2013	27-36
山縣邦弘	主な原発性糸球体腎炎 1. 溶連菌感染後急性糸球体腎炎	小川聡他	内科学書改訂第 8 版	中山書店	東京	2013	453-455
秋山真一、今井圓裕	慢性腎症の診断：抗ホスホリパーゼA2受容体抗体の新たな展開と臨床応用		臨牀化学	医学書院	東京	43(1)	1-87
丸山彰一	ネフローゼ症候群の病態生理	今井圓裕	ネフローゼ症候群	最新医学社	大阪	2013	38-45

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kawamura T, Yoshimura M, Miyazaki Y, et al.	A multicenter randomized controlled trial of tonsillectomy combined with steroid pulse therapy in patients with IgA nephropathy	Nephrol Dial Transplant	DOI 10.1093/ndt/gfu020[Epub ahead of print]		2014
Okamoto H, Kawamura T, Okonogi H, et al.	The role of a low glomerular density and being overweight in the etiology of proteinuria in CKD patients without known glomerular diseases.	Clin Exp Nephrol.	DOI 10.1007/s10157-014-0940-y [Epub ahead of print]		2014
Suzuki Y, Matsuzaki K, Suzuki H, et al.	Serum levels of galactose deficient IgA1 and related immune complex are associated with disease activity of IgA nephropathy.	Clin Exp Nephrol.	DOI 10.1007/s10157-013-0921-6[Epub ahead of print]		2014
Miyazaki Y, Kawamura T, Joh K et al.	Overestimation of the risk of progression to end-stage renal disease in the poor prognosis' group according to the 2002 Japanese histological classification for immunoglobulin A nephropathy	Clin Exp Nephrol.	DOI 10.1007/s10157-013-0848-y [Epub ahead of print]		2013
Suzuki Y, Matsuzaki K, Suzuki H, et al.	Proposal of remission criteria for IgA nephropathy.	Clin Exp Nephrol.	DOI 10.1007/s10157-013-0849-x[Epub ahead of print]		2013
Matsuzaki K, Suzuki Y, Nakata J, et al.	Nationwide survey on current treatments for IgA nephropathy in Japan.	Clin Exp Nephrol.	17	827-33	2013

Tsuboi N, Koike K, Hirano K, et al.	Clinical features and long-term renal outcomes of Japanese patients with obesity-related glomerulopathy.	Clin Exp Nephrol.	17	379–385	2013
Tsuboi N, Utsunomiya Y, Koike K, et al.	Factors related to the glomerular size in renal biopsies of chronic kidney disease patients.	Clin Nephrol.	79	277–284	2013
Kawamura T, Joh K, Okonogi H, et al.	A histological classification of IgA nephropathy for predicting long-term prognosis: emphasis on end-stage renal disease.	J Nephrol.	26	350–357	2013
Furuya K, Kaku Y, Yoshida K, et al.	Therapeutic effects of sunitinib, one the anti-angiogenetic drugs, in a murine arthritis.	Mod Rheumatol.	Doi:10.3109/14397595.2013.844295 [Epub ahead of print]		2013
Muso E, Endo T, Itabashi M, Kakita H, et al.	Evaluation of the newly proposed simplified histological classification in Japanese cohorts of myeloperoxidase-anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated glomerulonephritis in comparison with other Asian and European cohorts.	Clin Exp Nephrol.	17	659–662	2013
Komatsuda A, Ohtani H, Sawada K, et al.	Proliferative glomerulonephritis with discrete deposition of monoclonal immunoglobulin γ 1 CH2 heavy chain and κ light chain: a new variant of monoclonal immunoglobulin deposition disease.	Pathol Int.	63	63–67	2013
Chiba N, Watanabe S, Aizawa-Yashiro T, et al.	Severe post-streptococcal acute glomerulonephritis and periodic fever, aphthous stomatitis, pharyngitis, and cervical adenitis syndrome.	Pediatr Int.	55	259–261	2013
Nakamura Y, Nishimura M, Terano T, et al.	A patient with POEMS syndrome: The pathology of glomerular microangiopathy.	Tohoku J Exp Med.	231	229–234	2013
Watanabe S, Imaizumi T, Tsuruga K, et al.	Possible activation of innate immunity in the pathogenesis of lupus nephritis.	Nephrology	18	833–837	2013
Osaki K, Suzuki Y, Sugaya T, et al.	Amelioration of Angiotensin II-Induced Salt-Sensitive Hypertension by Liver-Type Fatty Acid-Binding Protein in Proximal Tubules.	Hypertension.	62	712–8	2013

Horikoshi S, Okuda M, Nishimura E, et al.	Usefulness of HPLC assay for early detection of microalbuminuria in chronic kidney disease.	J Clin Lab Anal.	27	333-8	2013
Nakata J, Suzuki Y, Suzuki H, et al.	Experimental evidence of cell dissemination playing a role in pathogenesis of IgA nephropathy in multiple lymphoid organs.	Nephrol Dial Transplant .	28	320-326	2013
Suzuki H, Ohsawa I, Kodama F, et al.	Fluctuation of serum C3 levels reflects disease activity and metabolic background in patients with IgA nephropathy	J Nephrol.	26	708-715	2013
Mugitani N, Shimizu Y, Satake K, et al.	Acceleration of crescent formation by L1 retrotransposon in mouse BSA-induced nephritis.	J Nephrol.	26	375-84	2013
Ifuku M, Miyake K, Watanabe M, et al.	Various roles of the cytokine mRNA expression in different forms of glomerulonephritis.	Am J Nephrol.	38	115-123	2013
Yamagata K, Usui J, Sugiyama H, Nitta K, Wada T, Muso E, Arimura Y, Koyama A, Makino H, Matsuo S	Clinical findings on ANCA-associated renal vasculitis from the Japan RPGN registry obtained via a questionnaire survey	Clin Exp Nephrol	17	646-649	2013
shizu A, Tomaru U, Murai T, Yamamoto T, Atsumi T, Yoshiki T, Yumura W, Yamagata K, Yamada H, Kumagai S, Kurokawa MS, Suka M, Makino H, Ozaki S; JMAAV	Prediction of response to treatment by gene expression profiling of peripheral blood in patients with microscopic polyangiitis	PLoS One	8	e63182	2013
Kawamura T, Usui J, Kaseda K, Takada K, Ebihara I, Ishizu T, Iitsuka T, Sakai K, Takemura K, Kobayashi M, Koyama A, Kanemoto K, Sumazaki R, Uesugi N, Noguchi M, Nagata M, Suka M, Yamagata K	Primary membranoproliferative glomerulonephritis on the decline: decreased rate from the 1970s to the 2000s in Japan	Clin Exp Nephrol	17	248-254	2013
山縣邦弘	抗 GBM 病診療の実際	医学のあゆみ	246	59-64	2013
臼井丈一, 山縣邦弘	急速進行性腎炎症候群	腎と透析	76	51-54	2014

臼井文一, 山縣邦弘	半月体形成性(急速進行性)糸球体腎炎	日本内科学会雑誌	102	1128-113	2013
Wada T, Nangaku M, Maruyama S, Imai E, Shoji K, Kato S, Endo T, Muso E, Kamata K, Yokoyama H, Fujimoto K, Obata Y, Nishino T, Kato H, Uchida S, Sasatomi Y, Saito T, Matsuo S.	A multicenter cross-sectional study of circulating soluble urokinase receptor in Japanese patients with glomerular disease.	Kidney Int	in press		2014
Wada T, Nangaku M.	Novel roles of complement in renal diseases and their therapeutic consequences.	Kidney Int	in press		2013
和田健彦	膜性腎症と巣状分節性糸球体硬化症	BIO Clinica	28(8)	726-731	2013
和田健彦	近年明らかになったネフローゼ症候群をきたす液性因子	内科	112(4)	767-770	2013
和田健彦, 南学正臣	補体異常とMPGN, DDD, C3GN	腎と透析	in press		2014
武曾 恵理, 斉藤 喬雄	難治性ネフローゼ症候群に対するLDL アフェレシスの前向きコホート研究(POLARIS 調査)報告 中長期予後の解析	Therapeutic Research	33(8)	1220-1222	2012
武曾 恵理, 斉藤 喬雄	難治性ネフローゼ症候群に対するLDL アフェレシスの前向きコホート研究(POLARIS 調査)報告 FSGS 症例とそれ以外の症例の効果および背景の比較	Therapeutic Research	33(2)	211-213	2012
Miyata H, Uno K, Ono T, Yashiro M, Fukatsu A, Kita T, Kimura T, Muso E	Low Density Lipoprotein Apheresis Ameliorates Interferon- γ Production in Patients With Nephrotic Syndrome.	Ther Apher Dial.	16(2)	189-194	2012
Higashihara E, Nutahara K, Okegawa T, Shishido T, Tanbo M, Kobayasi K, Nitadori T.	Kidney volume and function in autosomal dominant polycystic kidney disease.	Clin Exp Nephrol.	18(1)	157-65	2014
Hirano K, kawamura T, Tsuboi N, okonogi H, Miyazaki Y, Ikeda M, Matsushima M, Hanaoka K, et al.	The predictive value of attenuated proteinuria at 1 year after steroid therapy for renal survival in patients with IgA nephropathy.	Clin Exp Nephrol.	17	555-62	2013

Sugiyama H, Yokoyama H, Sato H, Saito T, Kohda Y, Nishi S, Tsuruya K, Kiyomoto H, Iida H, Sasaki T, Higuchi M, Hattori M, Oka K, Kagami S, Kawamura T, Takeda T, Hataya H, Fukasawa Y, Fukatsu A, Morozumi K, Yoshikawa N, Shimizu A, Kitamura H, Yuzawa Y, Matsuo S, Kiyohara Y, Joh K, Nagata M, Taguchi T, Makino H; Committee for Standardization of Renal Pathological Diagnosis; Committee for Kidney Disease Registry; Japanese Society of Nephrology.	Japan Renal Biopsy Registry and Japan Kidney Disease Registry: Committee Report for 2009 and 2010.	Clin Exp Nephrol.	17(2)	155-73	2013
Saito T, Iwano M, Matsumoto K, Mitarai T, Yokoyama H, Yorioka N, Nishi S, Yoshimura A, Sato H, Ogahara S, Shuto H, Kataoka Y, Ueda S, Koyama A, Maruyama S, Nangaku M, Imai E, Matsuo S, Tomino Y	Significance of combined cyclosporine-prednisolone therapy and cyclosporine blood concentration monitoring for idiopathic membranous nephropathy with steroid-resistant nephrotic syndrome: a randomized controlled multicenter trial.	Clin Exp Nephrol.	in press		2013
Saito T, Matsunaga A, Ito K, Nakashima H	Topics in lipoprotein glomerulopathy: an overview	Clin Exp Nephrol.	in press		2013
Sato H, Takahashi N, Sato E, Kisu K, Ito S, Saito T	Pathology of glomerular lipidosis	Clin Exp Nephrol.	in press		2013

杉山 齊、佐藤博、上田善彦、横山 仁	特集 進行性腎障害:診断と治療の進歩 I. 診断法 2. 腎疾患の疫学 (レジストリーから)	日本内科学会雑誌	第 102 巻 5 号	1083-1091	2013
横山 仁	特集 進行性腎障害:診断と治療の進歩 III. 最近の話題 2. 高齢者ネフローゼ症候群, 日内会誌, 102 : , 2013.	日本内科学会雑誌	第 102 巻 5 号	1172-1179	2013
横山 仁	特集 ネフローゼ症候群-診療の新たな潮流 ネフローゼ症候群の疫学,	内科	第 112 巻 4 号	649-654	2013
笹富佳江、斉藤喬雄	特集 ネフローゼ症候群-診療の新たな潮流 ネフローゼ症候群治療のフローチャート	内科	第 112 巻 4 号	667-671	2013
Komagata Y, Nomura K, Yoshihara K, Kawashima S, Kaname S, Arimura Y, Yamada A	AP-VAS2012 case report: MPO-ANCA-negative relapse of MPO-ANCA-associated vasculitis.	CEN Case Reports.	2	180-183	2013
有村義宏	血管炎の最新知見.	第 110 回日本内科学会講演会 教育講演日本内科学会雑誌.	102 (9)	2382-2390	2013
Arimura Y, Kawashima S, Yoshihara K, Komagata Y, Kaname S, Yamada A	The role of myeloperoxidase and myeloperoxidase-antineutrophil cytoplasmic antibodies (MPO-ANCAs) in the pathogenesis of human MPO-ANCA-associated glomerulonephritis.	Clin Exp Nephrol.	17	634-637	2013
Kawashima S, Arimura Y, Sano K, Kudo A, Komagata Y, Kaname S, Kawakami H, Yamada A	Immunopathologic co-localization of MPO, IgG, and C3 in glomeruli in human MPO-ANCA-associated glomerulonephritis.	Clin Nephrol.	79 (4)	292-301	2013
松田朝子、有村義宏、吉原 堅、駒形嘉紀、要 伸也、山田 明	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (Churg-Strauss 症候群) 寛解期の末梢神経障害に対する大量 γ グロブリン療法の有効性.	日本臨床免疫学会会誌	36 (4)	217-225	2013
有村義宏	ANCA 関連血管炎 (顕微鏡的多発血管炎, 多発血管炎性肉芽腫症, 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症) .	腎と透析	74 増刊号	196-198	2013
有村義宏	顕微鏡的多発血管炎の予後.	リウマチ科	49 (6)	673-678	2013
有村義宏	顕微鏡的多発血管炎.	医学のあゆみ	246 (1)	37-43	2013

Yamagata K, Usui J, Sugiyama H, Nitta K, Wada T, Muso E, Arimura Y, Koyama A, Makino H, Matsuo S	Clinical finding on ANCA-associated renal vasculitis from the Japan RPGN registry obtained via a questionnaire survey.	Clin Exp Nephrol	17	646-649	2013
Minako Wakasugi, Junichiro James Kazama, Masatomo Taniguchi, Atsushi Wada, Kunitoshi Iseki, Yoshiharu Tsubakihara, Ichiei Narita	Increased risk of hip fracture among Japanese hemodialysis patients.	J Bone Miner Metab	31	315-321	2013
Wang-Rosenke Y, Khadzhynov D, Loof T, Mika A, Kawachi H, Neumayer HH, Peters H.	Tyrosine kinases inhibition by Imatinib slows progression in chronic anti-thy1 glomerulosclerosis of the rat.	BMC Nephrol.	14	223-35	2013
Babayeva S, Rocque B, Aoudjit L, Zilber Y, Li J, Baldwin C, Kawachi H, Takano T, Torban E.	Planar cell polarity pathway regulates nephrin endocytosis in developing podocytes.	J Biol Chem	288(33)	24035-48	2013
Soetikno V, Sari FR, Lakshmanan AP, Arumugam S, Harima M, Suzuki K, Kawachi H, Watanabe K.	Curcumin alleviates oxidative stress, inflammation, and renal fibrosis in remnant kidney through the Nrf2-keap1 pathway.	Mol Nutr Food Res.	57(9)	1649-59	2013
Lakshmanan AP, Harima M, Suzuki K, Soetikno V, Nagata M, Nakamura T, Takahashi T, Sone H, Kawachi H, Watanabe K.	The hyperglycemia stimulated myocardial endoplasmic reticulum (ER) stress contributes to diabetic cardiomyopathy in the transgenic non-obese type 2 diabetic rats: a differential role of unfolded protein response (UPR) signaling proteins.	Int J Biochem Cell Biol.	45(2)	438-47	2013
Soetikno V, Sari FR, Sukumaran V, Lakshmanan AP, Harima M, Suzuki K, Kawachi H, Watanabe K.	Curcumin decreases renal triglyceride accumulation through AMPK-SREBP signaling pathway in streptozotocin-induced type 1 diabetic rats.	J Nutr Biochem	24(5)	796-802	2013

河内裕、高橋彩、山崎美穂子、福住好恭、富田雅之	腎糸球体上皮細胞（ポドサイト）スリット膜の構造と機能—ARBのポドサイト保護作用—	Pharma Medica	31 (5)	98-100	2013
前嶋明人	ワンポイントアドバイス「蛋白尿・血尿-腎臓専門医に紹介するタイミング-」	Medical Practice	30 巻 6 号	1098	2013
前嶋明人、野島美久	早期診断と治療「全身性エリテマトーデス」	内科	112 巻 1 号	33-37	2013
松本 啓、横尾隆	腎臓の幹細胞を用いた三次元的再生	腎と透析	75	839-843	2013
横尾 隆	臨床応用に向けた腎臓再生研究	日本透析医学会雑誌	46	1055-1060	2013
福井 亮、横尾隆	腎臓と再生医療 特集；腎臓学この一年の進歩	日本腎臓学会誌	56	56-62	2014
Yokote S, Yokoo T	Organogenesis for kidney regeneration	Curr Opin Organ Transplant	18	186-190	2013
Araoka T, Mae S, Kurose Y, Uesugi M, Ohta A, Yamanaka S, Osafune K.	Efficient and rapid induction of human iPSCs/ESCs into nephrogenic intermediate mesoderm using small molecule-based differentiation methods.	PLoS One	9	e84881	2014
Mae S, Shono A, Shiota F, Yasuno T, Kajiwara M, Gotoda-Nishimura N, Arai S, Sato-Otubo A, Toyoda T, Takahashi K, Nakayama N, Cowan CA, Aoi T, Ogawa S, McMahon AP, Yamanaka S, Osafune K.	Monitoring and robust induction of nephrogenic intermediate mesoderm from human pluripotent stem cells.	Nature Communications	4	1367	2013
笠原 朋子、前 伸一、長船 健二	iPS細胞を用いた腎臓再生研究の進展	医学のあゆみ	248	157-158	2014
豊原 敬文、長船 健二	iPS細胞を用いた腎疾患治療	腎と透析	75	850-853	2013
長船 健二	iPS細胞を用いた腎臓再生と新規腎疾患モデルの作製	日本小児腎臓病学会雑誌	26	64-69	2013
丸山彰一、秋山真一、松尾清一	慢性腎症とPLA2R1 抗体	腎と透析	76 (1)	13-148	2014
丸山彰一	I. 診断法 4. ネフローゼ症候群	日本内科学会雑誌	102 (5)	1098-1104	2013 1098-1104
松尾清一	腎臓病における疾患概念と臨床研究	日本内科学会雑誌	102 (5)	1067-1069	2013

Japan Renal Biopsy Registry and Japan Kidney Disease Registry: Committee Report for 2009 and 2010

Hitoshi Sugiyama · Hitoshi Yokoyama · Hiroshi Sato · Takao Saito · Yukimasa Kohda · Shinichi Nishi · Kazuhiko Tsuruya · Hideyasu Kiyomoto · Hiroyuki Iida · Tamaki Sasaki · Makoto Higuchi · Motoshi Hattori · Kazumasa Oka · Shoji Kagami · Tetsuya Kawamura · Tetsuro Takeda · Hiroshi Hataya · Yuichiro Fukasawa · Atsushi Fukatsu · Kunio Morozumi · Norishige Yoshikawa · Akira Shimizu · Hiroshi Kitamura · Yukio Yuzawa · Seiichi Matsuo · Yutaka Kiyohara · Kensuke Joh · Michio Nagata · Takashi Taguchi · Hirofumi Makino · Committee for Standardization of Renal Pathological Diagnosis and Committee for Kidney Disease Registry, Japanese Society of Nephrology, Japan

Received: 30 July 2012 / Accepted: 18 November 2012 / Published online: 6 February 2013
© Japanese Society of Nephrology 2013

Abstract The Japan Renal Biopsy Registry (J-RBR) was started in 2007 and the Japan Kidney Disease Registry (J-KDR) was then started in 2009 by the Committee for Standardization of Renal Pathological Diagnosis and the Committee for the Kidney Disease Registry of the Japanese Society of Nephrology. The purpose of this report is to describe and summarize the registered data from 2009 and 2010. For the J-KDR, data were collected from 4,016 cases,

including 3,336 (83.1 %) by the J-RBR and 680 (16.9 %) other cases from 59 centers in 2009, and from 4,681 cases including 4,106 J-RBR cases (87.7 %) and 575 other cases (12.3 %) from 94 centers in 2010, including the affiliate hospitals. In the J-RBR, 3,165 native kidneys (94.9 %) and 171 renal grafts (5.1 %) and 3,869 native kidneys (94.2 %) and 237 renal grafts (5.8 %) were registered in 2009 and 2010, respectively. Patients younger than 20 years of age comprised 12.1 % of the registered cases, and those 65 years and over comprised 24.5 % of the cases with native kidneys in 2009 and 2010. The most common clinical diagnosis was chronic

Electronic supplementary material The online version of this article (doi:10.1007/s10157-012-0746-8) contains supplementary material, which is available to authorized users.

H. Sugiyama · H. Makino
Department of Medicine and Clinical Science, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry, and Pharmaceutical Sciences, Okayama, Japan

H. Yokoyama (✉)
Division of Nephrology, Kanazawa Medical University School of Medicine, 1-1 Daigaku, Uchinada, Ishikawa 920-0293, Japan
e-mail: h-yoko@kanazawa-med.ac.jp

H. Sato
Division of Nephrology, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Japan

T. Saito
Division of Nephrology and Rheumatology, Department of Internal Medicine, Fukuoka University School of Medicine, Fukuoka, Japan

Y. Kohda
Department of Nephrology, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University, Kumamoto, Japan

Present Address:
Y. Kohda
Hikarinomori Clinic, Kumamoto, Japan

S. Nishi
Division of Nephrology and Kidney Center, Kobe University School of Medicine, Kobe, Japan

K. Tsuruya
Department of Integrated Therapy for Chronic Kidney Disease, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan

H. Kiyomoto
Division of Integrated Nephrology and Telemedicine, Department of Community Medical Supports, Tohoku Medical Megabank Organization, Tohoku University, Sendai, Japan

H. Iida
Department of Internal Medicine, Toyama Prefectural Central Hospital, Toyama, Japan

T. Sasaki
Division of Nephrology and Hypertension, Department of Internal Medicine, Kawasaki Medical School, Kurashiki, Japan

M. Higuchi
Division of Nephrology, Department of Internal Medicine, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan

nephritic syndrome (55.4 % and 50.0 % in 2009 and 2010, respectively), followed by nephrotic syndrome (22.4 % and 27.0 %); the most frequent pathological diagnosis as classified by the pathogenesis was IgA nephropathy (31.6 % and 30.4 %), followed by primary glomerular diseases (except IgA nephropathy) (27.2 % and 28.1 %). Among the primary glomerular diseases (except IgA nephropathy) in the patients with nephrotic syndrome, membranous nephropathy was the most common histopathology in 2009 (40.3 %) and minor glomerular abnormalities (50.0 %) were the most common in 2010 in native kidneys in the J-RBR. Five new secondary and longitudinal research studies by the J-KDR were started in 2009 and one was started in 2010.

Keywords Native kidney biopsy · Primary glomerulonephritis · IgA nephropathy · Membranous nephropathy · Renal grafts · National registry

Introduction

The Japanese Society of Nephrology (JSN) established the Japan Renal Biopsy Registry (J-RBR) in 2007, and it conducted analyses for 2007 and 2008 [1]. In 2009, the JSN started the Japan Kidney Disease Registry (J-KDR) to record clinically-diagnosed cases in addition to the J-RBR. Participation in the J-KDR, including the J-RBR, was

requested from appointed clinical training hospitals of the JSN and the Japanese Society for Dialysis Therapy in an attempt to extend the registry nationwide. In this report, the detailed data of the J-RBR and the frequencies of the different clinical diagnoses in the J-KDR registered from January to December of 2009 and 2010 are summarized.

Subjects and methods

Registry system and patients

This report includes the data from patients included in the J-RBR and J-KDR (J-RBR/J-KDR), registered prospectively from January 2009 to December 2010. The patients' data, including age, gender, laboratory data, and the clinical and pathological diagnoses, were recorded at each institution and registered on the web page of the J-RBR/J-KDR utilizing the Internet Data and Information Center for Medical Research (INDICE) system of the University Hospital Medical Information Network (UMIN), as described previously [1]. The ethics committee of the JSN and that of Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry, and Pharmaceutical Sciences comprehensively approved the study, and a local committee of participating centers and their affiliate hospitals individually approved the study. Written informed consent was

M. Hattori
Department of Pediatric Nephrology, Tokyo Women's Medical University, School of Medicine, Tokyo, Japan

K. Oka
Department of Pathology, Hyogo Prefectural Nishinomiya Hospital, Hyogo, Japan

S. Kagami
Department of Pediatrics, The Institute of Health Bioscience, The University of Tokushima Graduate School, Tokushima, Japan

T. Kawamura
Department of Medicine, Division of Kidney and Hypertension, Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan

T. Takeda
Division of Clinical Nephrology and Rheumatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan

Present Address:
T. Takeda
Department of Nephrology, Dokkyo Medical University Koshigaya Hospital, Koshigaya, Japan

H. Hataya
Department of Nephrology, Tokyo Metropolitan Children's Medical Center, Tokyo, Japan

Y. Fukasawa
Department of Pathology, KKR Sapporo Medical Center, Sapporo, Japan

A. Fukatsu
Department of Nephrology, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto, Japan

Present Address:
A. Fukatsu
Department of Nephrology, Yachiyo Hospital, Anjo, Japan

K. Morozumi
Kidney Center, Japanese Red Cross Nagoya Daini Hospital, Nagoya, Japan

N. Yoshikawa
Department of Pediatrics, Wakayama Medical University, School of Medicine, Wakayama, Japan

A. Shimizu
Department of Pathology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan

H. Kitamura
Department of Pathology, Clinical Research Center, National Hospital Organization Chiba East National Hospital, Chiba, Japan

obtained from the patients at the time of biopsy or at the time they were registered to participate in the study. The J-RBR/J-KDR is registered in the Clinical Trial Registry of UMIN (Registered Number UMIN00000618).

Clinical or renal histopathological diagnosis and laboratory data

Three classifications, including the clinical diagnosis, histological diagnosis based on the pathogenesis, and histological diagnosis based on a histopathological examination, were made for each case included in the J-RBR, as described previously [1]. Of these classifications, the clinical diagnosis alone was selected for the J-KDR. The definition of each diagnosis was based on the clinical syndromes and renal histopathology, as described previously [2]. IgA nephropathy (IgAN) (Berger disease) was separated from primary glomerular diseases on the basis of basic glomerular alterations in the classification of glomerular diseases by the World Health Organization [2]. In 2010, hemolytic uremic syndrome and thrombotic thrombocytopenic purpura (HUS/TTP), congenital anomalies of the kidney and urinary tract (CAKUT) and polycystic kidney disease (PKD) were added to the classification of the clinical diagnosis on the case record (Table S1). The clinical data, including the results of the urinalysis, daily proteinuria, serum creatinine concentrations, total protein,

albumin, and the total cholesterol values, were always recorded, while the systolic and diastolic blood pressure, prescription use of anti-hypertensive agents, hemoglobin A1c, and presence of diabetes mellitus were optionally recorded. The estimated glomerular filtration rate was calculated as described previously [3]. The frequency of the diseases are here described in general, but the clinical data were also analyzed separately for cases of IgAN, which is the most common renal disease in Japan [1, 4, 5].

Statistical analyses

Data are expressed as the mean \pm SD for continuous parametric data, medians and interquartile ranges for continuous non-parametric data, and frequencies for categorical data. The statistical analyses were performed using the JMP software program, version 8 (SAS Institute Inc., Cary, NC, USA).

Results

Baseline characteristics of the J-RBR/J-KDR participants in 2009 and 2010

The numbers of participating facilities and registered renal biopsies or cases without renal biopsies in the registry in 2009 and 2010 are shown in Table 1. The J-KDR was started in 2009 and the number of participating facilities increased by 34 compared to 2008, reaching a total of 57 facilities in the J-RBR and 59 facilities in the J-KDR. The number of total renal biopsies increased to 3,336 in 2009, which was 1,754 more biopsies than in the previous year [1], and in 2010 it further increased to 4,106 in the J-RBR. The number of other cases (not in the J-RBR), which corresponds to the cases without renal biopsies but diagnosed by clinical findings, was 680 and 575 in 2009 and 2010, respectively. The average age of this cohort was more than 10 years higher than that of the J-RBR in each year (Table 1).

The number of native kidney biopsies increased; however, that of renal graft biopsies registered in 2009 slightly decreased compared to 2008 (Table 2). The distribution of age ranges showed a peak distribution in the seventh decade in both genders for native kidneys (Table 3). Patients younger than 20 years of age comprised 12.1 % and 10.3 % of the cases, and those 65 years of age and over comprised 24.5 % and 4.7 % of the native kidney and renal grafts, respectively, during the 2-year period (2009 and 2010). In the patients who underwent renal grafts, both the average age and the peak distribution of age ranges were younger than those of patients who underwent native kidney biopsies (Tables 2, 3).

Y. Yuzawa

Department of Nephrology, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan

S. Matsuo

Department of Nephrology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan

Y. Kiyohara

Department of Environmental Medicine, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan

K. Joh

Division of Pathology, Sendai Shakai Hoken Hospital, Sendai, Japan

M. Nagata

Molecular Pathology, Biomolecular and Integrated Medical Sciences, Graduate School of Comprehensive Human Sciences, University of Tsukuba, Tsukuba, Japan

T. Taguchi

Department of Pathology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences, 1-12-4 Sakamoto, Nagasaki 852-8523, Japan

Present Address:

T. Taguchi (✉)

Department of Pathology, Nagasaki Municipal Hospital, Nagasaki, Japan

e-mail: taguchi@nagasaki-u.ac.jp